

戦評用紙

大会名: 高松宮記念杯第49回全日本実業団、小・中・高選手権大会

対戦チーム オムロン 対 北國銀行

会場 ~~北國銀行奥武山運動公園~~ 国立武道館アリーナ 平成 20 年 8 月 3 日

戦評 前半 北國銀行のスタートで試合開始早々
0分36秒で北國 野路のステップシュートで先制。

その後オムロン 東嶺, 佐久川, 藤井, 北國 宮前, 野路
上田 等のシュートが続き, 7分57秒はシーソーゲームの展開。

両チームのGKの好セーブもあり, 得点かた, 互か。
10分過ぎに北國の宮前, 上田, 武井の3連続シュートで

オムロンのカウンターで北國リード。思わぬオムロンは
タイムアウトをとる。タイムアウト後, オムロンも東嶺, 佐久川

両チームの3連続シュートで得点となり 8対9まで逆転。

北國も仲宗根のフラインドからのステップシュートで
2得点連続得点 10対9。またしてもシーソーゲーム

となり 前半 14対13 で北國リードで試合を折り返す。

後半は オムロン の佐久川の同点シュートでスタート。
2分50秒に

5分頃には両チーム 勢がみえはじめる。10分過ぎ, 北國が
先制。その中, 両チームとも10分過ぎからの逆攻め
が見られるが, 互か GKの好セーブにより得点ならず。

10分過ぎから, 北國は宮前, 若松, 武井, オムロンは

西本, 吉田 の得点があり, 15分頃には 18対17 と

北國が1点リードで半場を折り返す。

(→ 裏へ)

シーソーゲームを構築する。

北國のGK用代か。オールドのノーマンがアウトに
サイドシュートと再び止む。千一とオールドを救う。

北國の土町、空前の得点を重ね
2対0。22対はオールドと対峙して

オールドの自入アウト。

自入アウト後北國のGK用代が好セーバー

はかたか得点の上げられ、22対20で北國銀行の

勝利で幕上げられた。

両千一とオールドの開始動きの違い、攻めと守りで

見ている人々を驚かす試合であった。